

子どもへの手紙2「1, 2, 3年生の子どもたちへ」

1年生のみなさん

はじめていっしょにおべんきょうしましたね。
アンパンマンのうたは、おじさんとおべんきょうのテーマソングです。
しっかりとげんきよくうたってくれました。ありがとうございました。
どうしてうたうの？ ってしつもんしてきたお友だちもいました。
あのうたのことばが、おじさんはとても好きです。
ゆうきがもらえるうたではないでしょうか。

おべんきょうも、おいしゃへのかかりかたで、
一人ひとりがびょうきのときにどんなふうにびょういんに行って、
おいしゃさんにどのようにおはなししたらいいのか、よく考えてくれましたね。
そうです。じぶんのからだのことはじぶんがいちばんよく知っているのだから、
じぶんのことばで、おいしゃさんにしっかりとつたえることがたいせつなんですね。
おいしゃさんは、みんなといっしょにびょうきをなおすアンパンマンのようなつよいみかたです。
早くげんきになるためにも、おいしゃさんの言うことやお母さんの言うことを
よくきくこともだいじですね。

それから、どうして「けんきゅうをやろうとおもったんですか？」としつもんした
るかちゃん、おじさんはこのおべんきょうは、みんなの「いのちとからだ、そしてこころ」がそだって
いくためには、かけがいのないおべんきょうだとかんがえたのです。
そして、はじめて1年生のみんなとおべんきょうをしてみて、
やっぱりたいせつでひつようなおべんきょうだと気づきました。
だから、日本中のもっとたくさんの先生方やおいしゃさんにしてもらいたいとおもっています。
そのはじめのだいっほを、みんなとおべんきょうできて、とてもしあわせです。
ありがとうございました。

これからきせつはさむい冬をむかえますが、子どもは風の子、
さむさにまけないでしょうぶなからだづくりをしてくださいね。
でも、もしかぜをひいたときには、むりしないで
はやくおいしゃさんやお母さんといっしょになおしてくださいね。
こんど会うときを、ほんとうにたのしみにしてます。

2年生のみなさん

ひさしぶりにいっしょにおべんきょうできて、とてもうれしかったです。

びょうきのことで、おじさんのしんぱいをしてくれたお友だちも多かったのは、それだけ人のことに気をつかう『まごころ』が一人ひとりのこころのなかにしっかりとそだっているんですね。

「自分のことは自分でやる」

当たり前のことのようで、ほんとうはついついだれかに甘えてしまうんだよね。

でもこのおべんきょうをとおして、びょうきになったとき、どんなふうにおいしゃさんにお話ししたらいいのか、しっかり考えてくれましたね。

そうだね、自分のからだのことは一番よく知っているのは自分なんだから、自分のことばでしっかりと伝えることが大事だということに気づいてくれて、これからは自分で話すということを学んだね。

Aちゃんは自分でいたいところやつらいところを言いたいですって、もうお母さんにたよらないで、自分のことは自分でするって子ども多かったのは、とてもすばらしいことだよ。

でも、Nちゃんのように苦しいときは、お母さんにたよってもいいんだよね。

びょうきになったら、おいしゃさんときょうりよくしてなおすということ学んだ

Tくんは、これからはそのことを生かしてすごしたいと、おじさんに力強くつたえています。

みんなの気もちもきっと同じだよ。

R1ちゃんやSちゃんは、自分で自分のいのちをまもることを学んだとおしえてくれました。

Mちゃんは、自分でなおそうとする気もちを学び、これをさんこうにこんなんをのりこえていこうと思いますと、こうしたいという強い気もちを伝えてくれました。

おいしゃさんのことも、シールやあめをくれたりしてやさしい人も多くなっておしえてくれたけど、いたいちゅうしゃやてんきをするのも、きっと早くびょうきをなおしてあげたいという「やさしさ」じゃないかな？

だって、みんなのびょうきをいっしょにたたかいなおすなかなんだからねって、R2ちゃんは気づいて、おいしゃさんの「やさしさ」をしてよかったって言ってくれました。

おいしゃさん、とってもよろこぶと思うよ。

おじさんと9ヶ月ぶりに会って、とてもうれしかったというお友だちがたくさんいて、おべんきょうが楽しかった、また来てねというリクエストもうれしかった。

こんど来る日ははっきりしているのは、来年の10月ころです。

みんなが3年生になって、もっとすてきなおにいちゃん、おねえちゃんになっているところです。

おじさんも元気にこれからも別の学校の子もたちに、みんなといっしょにしたおべんきょうをもとに、たいせつなことをつたえてきます。おうえんしてくださいね。

寒さに負けず、元気にたのしくこれからもおべんきょうをたくさんして、かしこい子になってくださいね。

3年生のみなさん

こんにちは。

11月になってしまって、きっと寒くなってきたと思うけど、みんな元気かな？
お手紙ありがとう。お返事がおくれてごめんね。

お勉強のお話をしよう。

Rくんは「ぼくが病気になったら、すぐ治してくれるし、お年寄りの人に薬の説明をわかりやすくして
いていいと思いました」とお医者さんがお年寄りさんに薬の説明をしている様子をしっかり観察して
いて、それがいいという評価しているのは、すごいと思う。

自分のことばかりではなく、お医者さんが診察する他の人の様子を見て評価できるというのは、周りを
観る力や評価する力がついてきたということだね。

みんなも、身近にいる人たちのことを理解するために、まず観る力をつけることからはじめようね。

A1さんは、「お医者さんに薬や、家に帰ったら～してねといわれて、そのことを自分でやり、自分で
病気を治すことが大切だと思いました。4年生になったら（鳥居先生）また元気でむかえたいです」っ
て書いてくれました。お医者さんの指示どおりにすることで、早く病気をなおすことが一番だね。そし
て、来年またおじさんが来るときには元気にむかえたいって、なんかすごいな！ って感じた。ぜひ元
気で会おうね！

おじさんも病気にかからぬよう、がんばらなきゃ！

多くのお友だちが、「自分の病気のことはお医者さん自分からしゃべる。その理由は、自分の病気のこ
とだから」ということを教わったって言っていますが、「わけや理由を自分からしゃべれるようにした
い」と決めた子もいます。

あの時、自分でお医者さんにお話する人って聞いたら、ずいぶんたくさんの子がそうしていてびっくり
したけれど、1年生からも手があがっていたね。お母さんから、そうしなければいけないよって、しつ
けられているって聞いていたけど、とても大事なことだね。

HさんやIさん、A2さんは「とても大事なことを聞きました。それは“自分の病気やかぜなどは、自
分で守る、いのちは自分で守る”という言葉です」。

さらにHさんは「その言葉を聞いたとたん、心の中がとってもあたたかくなりました」って言ってく
れました。

どうして心の中があたたかくなったんだろう。「健康で生きている」ことが、どれほど幸せなのかって
ことかもしれないね。あたたかくなるってどんなことか、みんなも考えてみてね。

みんなが気をつけなければならないことは、病気やケガをしないこと。

病気やケガをすると、自分もせつないけれど、きみを大切にしている人を心配させたり悲しませたりす
ることになるよね。きみが大切にしている人が病気したときにとても心配になる以上に、その人たちは
もっと心配するんだよ。だから、くれぐれも病気やケガには気をつけることと、もしそうになったらどう
するか？

もうわかったよね。お医者さんや家族とそして「自分」とで力を合わせて、早くなおすことだよね。それが、今回の大事な勉強でした。とても3年生のみんなもがんばって学んでくれてとてもうれしかったです。

来年もまたいっしょにお勉強しましょう。

そのときには、もっと成長した一人ひとりに会いたいです！

寒くなるけど、体をしっかり動かして、こころもあったかくして、みんななかよくして元気でね！
いっしょにお勉強してくれて、本当にありがとう！

2015/11/07